

森山 貴士

一般社団法人オムスビ 代表理事

昭和61年 (1986)、大阪府生まれ。 立命館大学政策科学部に在籍しながらIT ベンチャーでデザイナーとして勤務。 卒業後、ソフトウェアメーカーで開発の仕事に従事し、2014年に退職して 南相馬市に移住。フリーランスのデザイナー、プログラマーとして活動しつつ、 2017年に一般社団法人オムスピを立ち上げる。

若者が社会に出る前にさまざまな社会の課題に取り組めるように、 人と社会をつなげる環境を地方でつくってみたいと考えています。 その思いは震災の3年後、南相馬市での人材育成活動から。 2014年まで勤めていた企業で、多くの後輩たちと働く中、 「若者の目指すこと、やりたいと思うこと | を後押しする教育などの環境が、 十分に整っていないことに気付いていました。そんな風に自身の行動も伴わない時期、 思いがけない縁によって南相馬市に移住することになりました。 この地域で活動する人たちにも支えられ、試行錯誤しながら歩んできました。 小高に関わる若者たちは、このまちづくりの現場に直接触れることができる。 この環境は自分が目指してきたものとも合致していて、 ここなら社会課題を解決できる人材を創出していけると確信しました。 小高は2016年に避難指示が解除され、住民ゼロから再出発したばかり。 何をやるにも確実なことはなく、とにかくトライを繰り返していくしかない。 「持続困難」と思われるこの地域を、「住み続けたい」「移住したい」 と思える場所にするため、僕らみたいな"よそ者"が新しい風の役割をし、 IT 技術と地域コミュニティを活かして挑戦を続けていきます。



若者の「やってみたい」を形にし、活動拠点ともなっている カフェ「Odaka Micro Stand Bar (OMSB)」